



日本海

日々の様子は学校
ホームページから！



「藤塚小ブログ」は連日更新中！

どの子どもも「やる気・元気・勇気」が出るように、
「ふわふわ言葉」を大切にしていこう！

校長 山田 耕世

先日の全校朝会で次の話を子どもたちにしました。

私たちは、「ちくちく言葉」（例「バカ」「死ぬ」「あっち行け」など）ではなく、「ふわふわ言葉」（例「ありがとう」「すごいね」「さすが」など）を伝え合うことを大切にしています。

「ふわふわ言葉」を言われると嬉しくなったり、反対に「ちくちく言葉」を言われると嫌な気持ちになったりします。一体どうしてでしょうか。

私たちの脳みそは、3つの脳みそでできていると言われていて

一番真ん中にあるのが「へびの脳」です。ここは、ものを食べたり、息を吸ったり吐いたり、眠ったりする時に使われ、生きていくためになくてはならない部分です。

次に「へびの脳」の周りがあるのが「ネコの脳」です。ここは、気持ちや心をコントロールします。

一番外側にあるのが「ヒトの脳」です。ものを考えたり、言葉を話したり、覚えたり、勉強したりするのに使われます。この部分は、人間だけしか持っていないので「ヒトの脳」と呼ばれています。

【問題】「ちくちく言葉」を言われると、この3つの脳みその中で一番ダメージを受けるのはどの脳でしょうか？

正解は「へびの脳」です。

「ちくちく言葉」を言われると、「へびの脳」が一番ダメージを受け、ご飯を食べたくなかったり、眠れなくなったり、元気がなくなって学校に行きたくなくなったりします。

また、「ちくちく言葉」を言われると、脳みその中に「ノルアドレナリン」という毒が出てきます。「ちくちく言葉」を言われたり、いじめを受けたりした人だけではなく、「ちくちく言葉」を言ったり、いじめたりしている人にも、「ノルアドレナリン」という毒が出てきます。そして、その毒のせいで脳が傷付き、病気になるやすくなると言われてい

ます。毒へびの毒の強さと同じぐらいのとても強い毒とも言われています。しかし、私たちの脳みそは、素晴らしく、脳みそにとっていい薬も出すと言われてい

ます。「エンドルフィン」というものです。「エンドルフィン」は、「ふわふわ言葉」を言われた時や、言った時にも出ると言われています。この「エンドルフィン」が出ると、やる気や元気、勇気が出ます。「ふわふわ言葉」を言ったり言われたりすると、この「エンドルフィン」が脳の中に出るから嬉しくなり、元気で、健康な体にしてくれるのだそうです。

一人一人が、「ちくちく言葉」ではなく、「ふわふわ言葉」を使うことで、「エンドルフィン」を出し合って、「やる気・元気・勇気」のあふれた学校にしていきたいと思います！！

普段何気なく使っている言葉。どの子どもも「やる気・元気・勇気」が少しでも出るように、今後も、学校や家庭、地域で「ふわふわ言葉」を大切にしていきたいものです。